

自らつながり、ひろがり、ふかめることができる 答えが決まっていない「オープンエンド」な保育環境づくり

保育環境づくりのポイント

当園の保育を振り返る中、室内遊びの充実や、異年齢が関わる中での遊びの広がりや楽しみを深める。また、危険のない遊び方について考え、気付けるよう促す保育の実現に向けて、物的環境と人的環境を見直していく事にした。外部講師を招き、現在の保育観の見直しや再確認、子どもの育ちをみつめるまなざしについて学び、意見を交わし、保育環境の見直しを行った。

～こどもたちのこの力を育みたい～

取組み内容

☒感じる・気づく力 ☒うごく力 ☒考える力
☒やりぬく力 ☒人とかわかる力

みんなで学ぼう！園内研修 夏2回
 ①園の良いところや改善点の共有！
 みんなが見えていない部分「あたりまえ」の部分を問い直す



つなげよう

②子ども主体で保育を省みてみよう！
 「ねがい」を共有→「ねがい」と「環境」をつなごう！
 「子ども」を理解して「やってみよう」を刺激しながら
 「ねがい」に向かって「おもい」と共に・・・

《実践》 作品展「おみせやさん」での縦割り活動

○歓迎会の時に同じチームだった縦割りクラスで活動してみよう！
 ○「つくってみたい」「やってみたい」を尊重し、引きだそう！

保育者の悩み

- ・縦割りでの活動の進め方
- ・年少3クラス、年中3クラス、年長3クラス、計9クラスの子どもの縦割りをどのような組み合わせにしたらいいのか。
- ・空間に対しての活動人数は何人がいいのか。
- ・つくりたいもの、やってみたいものの引き出し方
- ・イメージしたものを形にしていける援助方法
- ・空間作りや活動の進め方など・・・

みんなで学ぼう！園内研修 秋2回

①保育は子どもが「自ら」できるようサポートする仕事
 “やってみよう”が出発点 “楽しい”が原動力

②プロセスの中にあるキラキラした育ちを
 保育者同士語り合う風土が大切

つながり

《実践》「アスレチックブロック」導入！ どうやってあそぶ？

1. クラスごとにあそんでみよう
2. 縦割りであそんでみよう
3. グループであそんでみよう
4. 空間を開放しよう



動く力

よいしょ、よいしょ！

どんなふう
に遊ぶかな？

片付けもあそび！
 作りたい形にこ
 わって片付ける姿も
 ありました！

感じる・気づく力



やりぬく力

考える力

サーキット！
 すべり台だ！

人と関わる力



感じる・気づく力



わあ！
 綺麗な色
 ができた！

考える力



年少さんにどうやって
 教えてあげようかな？

やりぬく力



ここにも塗っ
 たらいいよ！

人と関わる力



いらっしやいませ～！
 これくださいー！

みんなで学ぼう！園内研修 冬3回
 主体的に遊びこむことでみえてくる5つの力
 子どもの興味関心はどこにある？
 「姿を読み取り、つなげて、ひろげて、深めて
 いくことが遊びこむということ」
 オープンエンドな語りかけと関わりを大切に。

このプログラムを始めるにあたり、まずは教員の共通理解が大切だと感じました。回を重ねるごとに、みんなの理解が深まり、常に進化しながらオープンエンドな保育環境づくりを進めていくことが出来ました。 園長 伊藤 薫

講師の助言・指導を頂きながら園内研修を進めていくうちに、保育者の同僚性も深まり、活発な意見交換も出来るようになりました。今回の取り組みにより、子どもの姿から興味関心はどこにあるのかを読み取り、幼児の言動に対してどう捉えるのかという点で大きな学びを得たことをきっかけに、今後も、保育者同士で子どもの姿や情報を共有し、子ども理解を深めていきたいと思っています。 西条幼稚園教職員一同

